

薬剤師のがん患者応対に必要とされるコミュニケーションスキル測定尺度の開発

薬剤師のがん患者と応対する場合、どのようなスキルが必要であるのか、あるいは、どのようなスキルが習得できたかについて評価する方法は確立されていません。本研究では、薬剤師のがん患者応対に必要とされるコミュニケーションスキルを測定あるいは評価するための測定尺度を開発しました。

がん患者応対スキル測定尺度の 41 項目に対して主因子分析にて因子分析を行いました（表 1）。第 1 因子は、8 項目で構成されており、「問 35 患者の指導方針はスムーズに決める」、「問 38 治療中に問題が発生した場合、適切な薬物療法を医師に提案する」に関する内容の項目が高い負荷量を示したことから、「問題解決スキル」因子と命名しました。第 2 因子は、7 項目で構成されており、「問 24 患者の表情やしぐさから気持ちを探索する」、「問 25 患者の心の変化に対し適切に応対する」に関する内容の項目が高い負荷量を示したことから、「患者心理理解スキル」因子と命名しました。第 3 因子は、5 項目で構成されており、「問 17 感情的な表現や言動は避ける」、「問 14 患者のプライバシーに配慮する」等の項目が高い負荷量を示したことから、「セルフコントロールスキル」因子と命名しました。第 4 因子は、5 項目で構成されており、「問 33 終末期や死について患者と話し合うことができる」等の項目が高い負荷量を示したことから、「終末期応対スキル」因子と命名しました。第 5 因子は、4 項目で構成されており、「問 40 患者の家族にも十分な情報を与える」等の項目が高い負荷量を示したことから、「患者、家族への情報提供スキル」因子と命名しました。

表 1 最終的な因子パターンと因子

項 目 内 容	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5
問35 患者の指導方針はスムーズに決める	0.687	-0.105	-0.076	0.134	0.112
問38 治療中に問題が発生した場合、適切な薬物療法を医師に提案する	0.629	-0.024	-0.058	-0.086	0.219
問37 患者情報を適切に収集する	0.616	0.070	0.195	-0.190	0.036
問36 患者の話を聞き問題点を見つける	0.611	0.208	0.042	-0.105	0.112
問34 薬剤管理業務において適切な目標を立てる	0.590	-0.065	0.032	0.153	-0.103
問 4 他の医療スタッフたちと情報を共有する	0.557	-0.032	-0.166	0.061	0.164
問18 自信をもって患者と接する	0.433	0.086	0.180	0.037	-0.096
問19 少しくらい失敗しても、気持ちを切り替える	0.372	0.169	0.039	0.219	-0.271
問24 患者の表情やしぐさから気持ちを探索する	0.068	0.825	-0.149	-0.093	0.024
問25 患者の心の変化に対し適切に対応する	0.030	0.686	0.011	-0.012	0.035
問 7 病気だけでなく患者自身への関心を示す	-0.011	0.565	-0.127	0.051	0.116
問23 患者が不安を抱えている場合に、適切に対応する	0.124	0.512	0.333	-0.163	0.082
問 8 患者の話をじっくりと耳を傾ける	-0.114	0.500	0.125	0.125	0.103
問20 患者の感情表出を受け止める	-0.030	0.453	0.241	0.215	-0.165
問12 患者の人生観を大切にすること	-0.064	0.445	-0.136	0.295	0.201
問17 感情的な表現や言動は避ける	-0.065	-0.195	0.607	0.015	0.026
問14 患者のプライバシーに配慮する	-0.192	0.012	0.574	0.064	0.246
問15 仕事を始めたらそのことに集中する	0.110	0.030	0.542	-0.104	-0.040
問16 いくつかの仕事をかかえているときに、効率よく処理する	0.313	-0.097	0.465	0.067	-0.149
問 1 患者が納得するまで何度も説明する	0.032	0.148	0.370	0.026	0.022
問33 終末期や死について患者と話し合うことができる	0.025	-0.094	-0.020	0.755	0.104
問30 余命や予後に関する質問をされても、適切に対応する	0.070	-0.085	0.257	0.559	0.039
問 9 沈黙を効果的に使う	-0.037	0.456	-0.111	0.468	-0.105
問28 患者の死への恐怖を理解し、支えになる	-0.089	0.258	0.231	0.461	-0.010
問26 患者の身体にそっと手を添える	0.124	0.295	-0.365	0.376	0.037
問40 患者の家族にも十分な情報を与える	0.132	0.042	-0.132	0.041	0.662
問39 患者と同じように家族にも配慮する	-0.087	0.284	0.160	-0.127	0.505
問41 患者と家族の意向が異なる場合、適切に対応する	0.112	0.032	0.097	0.261	0.475
問13 患者の同意を得るときに、適切に対応する	0.188	-0.126	0.253	0.170	0.436

因 子 名	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5
問 題 決 定 ス キ ル	-	.597	.528	.455	.415
患 者 心 理 理 解 ス キ ル	.597	-	.542	.587	.437
セ ル フ コ ン ト ロ ー ル ス キ ル	.528	.542	-	.356	.251
終 末 期 応 対 ス キ ル	.455	.587	.356	-	.364
患 者、家 族 へ の 情 報 提 供 ス キ ル	.415	.437	.251	.364	-

高い信頼性、妥当性を有し、29 項目から構成される「薬剤師におけるがん患者対応スキル測定尺度（Teramachi's & Komada Pharmacist Cancer Communication Skill Scale : Topic-29）」を開発しました。本測定尺度の開発により、がん患者対応における薬剤師のコミュニケーションスキルの自己評価が可能となり、さらなるコミュニケーションスキル向上のための指標となります。ひいては患者、家族とのよりよい信頼関係を築くことができると考えます。

【発表論文】

寺町ひとみ, 駒田奈月, 志賀仁美, 田村顕人, 土屋照雄, 薬剤師のがん患者対応に必要とされるコミュニケーションスキル測定尺度の開発, 医療薬学, 37, 653-660, 2011.